

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 8 日

仕 事 の 内 容	指定管理委託業務				
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習係	係	課長名 高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 5	-
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進	総合計画書 (ページ)	43	

予算名	款 <sup>10</sup>	教育費	項 <sup>5</sup>	保健体育費	目 <sup>②</sup>	② 体育施設運営費	事業 <sup>1</sup>	1 体育施設運営費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	-----------	-----------------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内体育施設(市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園野球場、テニスコート)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 施設
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 指定管理に施設管理を委託した状態	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 1回
	③ そのために何をしましたか。 指定管理委託契約	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 1回

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	施設	5	5	5	/
	成果指標	②の数値	回	1	1	1	/
	目 標	②の目標値	回	1	1	1	/
		目標値設定の考え方	委託した回数				
活動指標	③の数値	回	1	1	1	/	

3 経費	事業費(実績)		円	87,600,000	85,570,000	84,945,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	87,600,000	85,570,000	84,945,000	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	3,306,800	4,951,800	3,297,600		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	90,906,800	90,521,800	88,242,600		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成22年4月、住民サービスの向上及び効率化を図るため導入した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 現在、第2期の指定管理者が行っている。

仕 事 の 内 容	指定管理委託業務			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習係	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	体育施設に係るサービスについては向上されているとの意見があった。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	⑧その他（指定管理）	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
	指定管理者との連携を強化すること。			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	市の職員が常駐しないため、トラブルの把握や対応が遅れる場合がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	頻繁に市民体育館に足を運ぶことや電話等で調整を図った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	より一層指定管理者と連携を強化する必要がある。			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	毎月の定例打合せを充実させる。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	指定管理者のシフト等の調整が必要である。			
	(3)改革・改善案による期待成果			
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。